



## タンザニア

# BOP層実態調査レポート

調査実施日: 2012年10月  
 調査場所: ダルエスサラーム市内  
 ヒアリング数: 35人

### 余暇時間

現在施行されている労働関連法(The Regulation of Wages and Terms of Employment Order, 2010)によると、被雇用者の労働時間と休暇に関しては以下のとおり。

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 労働時間 | 1日9時間(休憩、食事時間を含む)、週45時間、週5日。それ以上は残業。 |
| 有給休暇 | 年28日間(土、日、祝日を含める)                    |

ダルエスサラームのココビーチで



海岸で飲み物を飲みながら



### ■実際の余暇時間 (35人からのヒアリング結果)

|        |  |
|--------|--|
| 1日当たり  | 0~8時間(平均2.35時間)<br>※8時間は未婚で親と同居の会社員女性。<br>0時間は家政婦。 |
| 1週間当たり | 0~3日(平均1.33日)<br>※3日は夜警の警備員。<br>0日は家政婦、タクシー運転手。    |



#### ■余暇の過ごし方(35人からのヒアリング結果)

◇日々の余暇時間◇ 教会、モスクへ行く。家事。体を休める。ジョギング。子供の世話。新聞を読む。ソーダやお茶を飲む。友人と電話で話す。友人に会う。家族とゆっくり過ごす。家でテレビ観賞。ラジオを聴く。読書。ゲームやビリヤードをする。

未婚者の方が、友人と会う、ビリヤードなど外に出ていく傾向があり、アクティブ。既婚者はほぼ家で過ごす者が多かった。



アルーシャ州のムトワムブでの玉突き

ダルエスのミコチェニ地区の学校の校庭でサッカー



◇普通の休日◇ たまった家事をする。ひたすら体を休ませる。教会へ行く。ソーダを飲みながら友人とおしゃべり。バーでビールを飲む。子どもの宿題を見る。子供と遊ぶ。髪結いをする。サルーン(美容室)へ行く。兄弟、親戚、友人などを訪ねる/もてなす。サッカーをする。サッカー観戦へ行く。買い物。海へ行く。借りてきたDVD(タンザニアの映画)を見る。

#### 兄弟・親戚・友人の訪問

全体を通して多かったのが、兄弟、親戚、友人を訪ねるという回答である。出かける側の負担はダラダラ(乗合バス)代Tsh350~(約17.5円)、受け入れる側はちょっとした飲み物(ソーダTsh600、約30円)や食べ物を用意するようだが、概してそれほど費用はかからないし、かけないで済む。

#### 未婚者／既婚者の過ごし方

■未婚者: 未婚者の方が経済的に余裕があるのか、買い物、お菓子やアイスなどを楽しむとの回答があった。月収Tsh22万(約11,000円)の親と同居の会社員の25歳未婚女性は、毎週末の出費はTsh10,000(約500円)とのことだが、例外であろう。

■家庭: 家族で海に出かける者もいるが、出費は、交通費(乗合バス)と貸し浮き輪Tsh1,000(約50円)、ソーダ、アイスキャンデーTsh300~(約15円~)程度で既婚者はできるだけ週末の出費を抑える傾向にあるようだ。もうひとつの傾向として、健康志向が挙げられるだろう。楽しみのためのサッカーはともかく、健康のためにジョギングをするのは、欧米/日本人などの在留外国人とインド人などに限られていた。しかし、ここ数年、BOP層の人々も健康のために走る人が増えている。インタビューした中でも7人いた。特に中年にさしかかった男性に多いようだ。ジョギングを始めてからマラリアなどの病気にかからなくなったとの声も複数聞いた。自宅の手造りジムで運動するという男性(29歳運転手)もいた。



### 特別休暇、長期休暇

クリスマスやラマダン明けの休暇前には、需要を見込んで物価が上がるのが常である。給与所得者は、それらの休暇のための手当をもらう人も多い。Tsh10万(約5,000円)前後か(制度化されているわけではないので、雇用主による)。早めにもらって値が上がる前に祭日用の服などを購入したいようだ。

長期休暇には、家族のあるものは家族で、単身者は単身で、実家のある村へ帰省することが多いようだ。バスを利用する。故郷に帰り、親や親戚に挨拶をしたり、親を手伝ったり、自分の畑を持っているものもいるので畑仕事をしたりして過ごす。バナナや米などを購入して戻ってくるものもいる。ダルエスサラームから約560km離れたモンに帰省する場合、片道バス代は大人一人Tsh22,000～(約1,100円～)。故郷以外の場所に旅行するという話は聞かなかった。

### 農村における余暇



ダルエスのマサキ地区での髪結い

農村は軒並みそうなのだろうが、女性の仕事がとても多い。畑仕事をしながらも水汲み、薪集め、育児など毎日の家事が半端ではない。夕方、畑仕事から戻って来た男性たちが集まっておしゃべりをしたり、酒場で地酒を楽しんでいる傍らで、女性たちが子供をあやしながら夕餉の支度を忙しそうにしている光景はよく見かける。



ドドマ州ブギリ村での踊りの練習

モロゴロ州のキングルウイラ村での聞き取りによると、散歩や近所の人と談話、タバコを吸う(男性)、サッカーをする(男性)ことが多いようだった。

ドドマ州のブギリ村では村の音楽グループがいくつもあり、余暇に参加して踊りや楽器の練習をするのは、男性だけでなく女性たちも多い。成人儀礼や結婚式などのお祝い事で披露するのが楽しみだそう。楽器は手作りなので、かかる費用は衣装代Tsh6,000～(約300円～)くらいだろうか。



【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。